

各 位

2024年11月18日
公益財団法人 SBI 子ども希望財団

SBI 海外体験プログラム実施に関するお知らせ

公益財団法人 SBI 子ども希望財団（所在地：東京都港区、理事長：世耕久美子、以下「当財団」）は児童虐待やネグレクトといった厳しい境遇に置かれた子どもたちの福祉の向上を目的に、様々な活動を行っております。その中で、「SBI 英語教育支援プログラム」を2014年に開始し、英語学習教材の提供や英語学習費用の助成を継続してまいりました。このプログラムでは、児童養護施設の子どもたちが、英語学習を通じてコミュニケーション能力を高め、自信と自己探求意欲を育むことで、最終的に英語力の向上を通じて自立の支援となり、将来の夢や希望を持つ機会の創出となることを目指したものです。

これまで、英語学習教材の提供等だけではなく、外国人講師による施設訪問プログラムやイングリッシュキャンプを行う等、外国人講師と直接会話をする機会も提供してまいりましたが、子どもたちが実際に海外に行き、“世界を見る”体験をして欲しいと考え、「SBI 英語教育支援プログラム」を受講した児童養護施設の子どもたち（高校生）を対象に、2024年夏に初めて「SBI 海外体験プログラム 2024」を実施いたしました。

参加した高校生は、アメリカでのホームステイや企業訪問、ボランティア体験等様々なプログラムに積極的に取り組み、充実した時間を過ごしていました。参加者からは「人と話すことが苦手だった自分が今回のプログラムで人と話すことが好きになった」、「進学や社会に出たとき、知らないことにチャレンジする心を忘れないでいようと思った」、「相手の文化や考え方を温かく受け入れることの大切さを知ることができた」といった感想もあり、本プログラムを通じて将来についてより深く考えるきっかけになったり、自分自身に自信を持ったりと、参加者それぞれが様々な学びを得ることができたようです。

当財団では、海外での様々な経験を通じて異文化や多様性を感じることで、子どもたち自身の視野を広げることを目的とし、観光だけのプログラムではなく、子どもたちが将来の目標を見つける、または生きていく上での原動力となるような体験ができればと考えており、次年度も本プログラムの実施を計画しております。本年度同様に移動交通費、参加費等の費用は当財団が負担いたします。

当財団では、今後も、子どもたちが自分の可能性を追求し、将来立派に自立していけるような支援活動を目指し、入所施設の改善・充実はもちろんのこと、子どもたちの育成にも焦点を当てた活動を展開してまいります。

< 『SBI 海外体験プログラム 2025』 実施概要 >

【日程】2025年7月29日（火）～ 8月6日（水）7泊9日（最終日は東京都内宿泊予定）

【行き先】アメリカ合衆国ワシントン州シアトル、カリフォルニア州ロサンゼルス

【募集人数】 高校生 10 名

【選考方法】

第 1 次選考：参加申込書、参加希望者本人の作文、施設長様の推薦書による書類選考

第 2 次選考：書類選考通過者に対する面接による最終決定

詳細は当財団ホームページをご参照下さい。

SBI 英語教育支援プログラムについて

<https://www.sbigroup.co.jp/zaidan/activity/education.html>

【公益財団法人 SBI 子ども希望財団 概要】

SBI 子ども希望財団は虐待を受ける等厳しい境遇に置かれた子どもたちの福祉向上を目的に 2005 年 10 月に、SBI グループの社会貢献活動を行う財団法人として設立され、2010 年 3 月に公益財団法人へ移行しました。被虐待児童が生活する児童養護施設の小規模化への助成事業、児童福祉施設等への寄付や児童養護施設の職員を対象とした研修、施設退所後の子どもたちの自立支援のほか、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止啓発活動も積極的に行っています。

SBI 子ども希望財団のホームページ：<https://www.sbigroup.co.jp/zaidan/>

以上

【お問い合わせ先】

本プレスリリースについて：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

SBI 子ども希望財団の活動について：

公益財団法人 SBI 子ども希望財団 03-6229-1003